



あけまして
おめでとう
ございます

contents

- ★新年あいさつ : 山本理事長
..... 2
- ★新年 1 月例会案内 :
1 月 26 日(日)白島「白潮公園」
..... 3
- ★「黄金山山頂」例会報告 : 恵木
..... 4
- ★第 3 回もりメイトキッズ
& 環境教育研究部会報告
: 佐々木
..... 5
- ★12 月部会報告
クラフト : 松岡・岩田
里山 : 佐藤
..... 6
- ★安全ゼミナール⑤-2 : 鎌田
- ★今月のひと枝 : ローズマリー
..... 7
- ★1 月・各部会の活動予定他
あしがるクラブ「とんど」案内
..... 8



今年の干支は「巳」。竹を使ったクラフト部会の力作です。

私たちが 森づくりを応援しています。



- ◆株式会社ニシナ屋珈琲 ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社東和テクノロジー ◆こだまクリニック
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり
- ◆公益財団法人 SOMPO 環境財団

《 ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略 》

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり : 健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く : 森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森から学ぶ : 人と森との関わりを学びます。
- 森の恵みを伝える : 恵みを利活用し、広げる活動。

例会

倶楽部のメイン行事(原則第4日曜日)
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は 1997 年から活動している団体です。
広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています!

広島市民賞、ひろしま県民活動県知事賞、広島ユネスコ活動奨励賞、
全国林業普及協会会長賞など受賞歴多数。



総ぐるみで探そう！ 私たちの「らしさ」を！

理事長 山本 恵由美



あけましておめでとうございます。

今年は「巳年」ですね。蛇は古代から再生や永遠の象徴とされ、皮を脱ぎ捨て新たな姿に生まれ変わる姿が新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年とも伝えられています。来る 30 周年を前にひと皮むけたい！

未来につながる役割を担う私たち！ そのために皆さんにお願いがあります。
「やりたいことを行うだけの狭い活動に留まらず、地域、学校、企業や行政など公益に寄与する活動とネットワークを大切にする『パブリックマインド』を持った市民組織の一員という気概を持ってもらうこと」そして「社会貢献度が高い本会の未来像を築くためには多様な人たちが参加できる仕組みづくりが必要な事」だと、改めて認識していただき「各部会の拡充」や「共に汗を流す若い仲間を一人でも多く増やす」方策を考えてもらえないでしょうか。

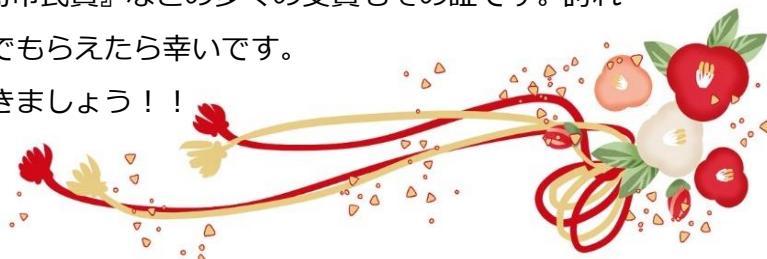
「私、つくる人、私、食べる人」という昔の CM に違和感を持つように、「私、みんなのために考え続ける人・・・」から皆さん一人一人が、「これならできる！」「こんなことをやってみたい！」など本会の発展のために知恵を絞って支え合えばより良い未来は近くなると思います

年始めには毎年のように本誌に「本会は森林整備のみならず、材の利活用、青少年をふくめて環境教育普及活動、指導者として活躍できる人財の育成、地域団体を支える貢献事業、さらに生物多様性の観点から絶滅危惧種の希少種保護など多彩な活動を手掛けるようになり、県内外を問わず依頼があれば積極的に関わり、森づくりにつながる『あらゆる視点とひらめき』を信じて無我夢中で走り続けてきています。

その中で「活動のみに終始することなく、人との関わり、地域づくりなど社会に貢献していく公益性を常に意識することや安全管理を最重要視してきた」という活動の主旨を皆さんにお伝えしています。このように多世代、多分野をつなぐ森づくり活動を展開するアイデアとマンパワーを持った活動団体は全国的に見ても珍しく貴重な存在なのです。

『ひろしま県民活動県知事賞』や『広島市民賞』などの多くの受賞もその証です。誇れる組織に関わっていると、大いに喜んでもらえたら幸いです。

皆さん粘り強くともに創造をしていきましょう！！



案内



新春 1 月例会 《担当：3 班》



2006 年にもりメイト倶楽部で主催した「MOTTAINAI(もったいない)キッズ植林プロジェクト」。当時、植林したサクラのメンテナンス《追肥、周辺木整理》など都市公園の景観整備を行います。

※担当班のメンバー&リーダーは 8 時までに現場へ集合して下さい。

◆日時：1 月 26 日 (日) 9 時～15 時 少雨決行

◆会場：【中区白島九軒町「^{はくちょうこうえん}白潮公園」】

※ 神田橋西詰下流・ダイキ白島店裏・慰霊碑前集合

※ 一般公園です。ご迷惑にならないよう乗合せのご協力をお願いします。

◆持参物：山の道具・飲み物・弁当・お椀・スコップ(ある方)

※活動団体「京橋川かわいあいあしがるクラブ」から温かい汁物の提供があります。

◆申込み：1 月 15 日 (水) までに各班長へ連絡。

※賛助会員その他参加希望の方は

事務局へ電話かメールでご連絡下さい

090-6419-7531 : info@morimate-ch.com



★アフリカの女性初のノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさんの呼びかけで始まった「MOTTAINAI キッズ植林プロジェクト」。国土緑化推進機構の助成事業として平成 18 年 11 月に広島に誘致し、中区白島九軒町の白潮公園から新工兵橋の京橋川右岸側の約 1 km 間にソメイヨシノ、ヒマラヤ桜、10 月桜、ベニシダレ、山桜など 38 本の桜を植樹しました。

今回、都市公園緑化の推進として桜に追肥を施すとともに、支障木や生け垣剪定をおこないます。明るい未来に思いを込め、新春にふさわしい 1 ページの活動に是非ご参加を！

写真：2006 年(平成 18)年に開催の「MOTTAINAI キッズ植林プロジェクト」は 200 人もの参加がありました

11月
例会

～地域貢献例会～ 11月24日(日) 「黄金山」南西斜面の山桜を救おう!

参加：総勢 40名(会員 27名・地元他 13名含む) 1班 恵木 正治

貴重な山桜に陽が注がれ、黄金山がより憩いの場になるようにと、雑木を伐り、クスノキやタブノキの大径木を倒し、南斜面の見晴らしを取り戻す。～地域の思いを受けて～



作業前の打ち合わせ。当日の作業を周知する。



タブの大径木の伐倒後の枝払い



展望台周辺の笹や雑木整理。埋もれていた石垣や、木々が見通せるように。

■早朝は冷え込みましたが、好天に恵まれた作業日和となりました。黄金山山頂の駐車場は、工事中で駐車台数の制限があったため、各班長が中心となり事前に連絡を取り合い、皆で出来るだけ乗りあわせての参加となりました。

■オリエンテーションでは、南区社協の桑野氏をはじめ、主催者、行政関係者の方々からの挨拶のあと、担当班の吉村班長の作業の説明を受け、ラジオ体操を終え、担当エリアの事前打ち合わせを念入りに行った後、早速作業を開始しました。当日は3グループに分かれ、それぞれのエリアの伐木、周辺整備に当たりました。私のエリアでは予定の伐木は、大径木タブノキを伐倒。大きな木で、事前準備に手間取りましたが、佐藤さんが修正を加えながら狙い通り安全に倒すことができました。倒れたときには、結構な音とともに倒れ迫力満点でした。

■お昼は、地元の人たちが用意して下さったマツタケご飯と豚汁。松茸なんて何年ぶりに食べるのだろうか。地元の人たちに感謝。とても美味しくいただきました。ありがとうございました。

午後からの作業は、2本のチルホールを駆使して大きなアラカシを伐倒。2本のチルをそれぞれ二人がかりで引っ張りあげ、大きな音とともに倒れました。伐倒した木の処理や駐車場近くの藪の整備を済ませ、14時頃に終了。

■最後に、振り返りで鎌田さんよりチェーンソーの使い方の注意喚起があり、燃料キャップを開け閉めする時しっかりと押し回す。チェーンソーの目立てでは、光に当てて均一に光るように目立てをしなければならない。玉切りをするときに、最後に木が思わぬ方向に回ってチェーンが噛んだり転がったりするので細心の注意を払う事等の指摘を受けました。

■私も、最後にチェーンソーの手入れをしたとき、組み立てがうまくいかず鎌田さんの指導を受けながら整備をしましたが、一人で行う整備と異なり色々な気付きがありとても勉強になりました。また、普段からロープワークの練習をしていないと、いざ使おうとしてもなかなか上手く思い出されず、普段から練習をしていないとということも勉強になりました。～恵木さんは育成講座26期生。

いつも積極的に活動に取り組んでおられます!～



ゴミも集める



美味しい楽しいランチタイム



=第3回= もりメイトキッズ

参加：小・中学生10名・未就学児6名 保護者15名(10家族)
 スタッフ：11名・学生ボランティア1名 =総勢43名=



環境教育部会長 佐々木綾子

冬が忍び寄り徐々に冷え込む日が続き、当日も寒空の中、元気いっぱいの子供たちが参加してくれました。

今回は倒した木の利用法を学ぶため、落葉樹(コナラ)をチェーンソーで伐倒する作業を見学した後、伐倒後の木の枝を払い、シイタケ栽培に使うホダ木用に約1mの長さに玉切りしました。ねらい通り倒せるようにロープ掛けして、スタッフの腕の見せどころ

となる予定でしたが、残念ながら掛かり木となり若干時間がかかってしまいました。枝の張る落葉樹の伐倒の難しさを改めて痛感いたしました。未就学児は料理を担当。燻製にする食材をカットしたり、汁物の団子をまるめました。

また、整備した時に出る端材^{はざい}を利用し火を付ける方法や、薪わり、クラフトなど、森林を整備するだけでなく、間伐材や木材の活用を皆で体験しました。



伐倒作業を見学。残念・・・かかり木に。



ほだ木用のコナラを玉切りをしたよ。



「エイッ！」親子で力をあわせて薪わり。



燻製のソーセージに胡椒をかけるキッズ。



火を付ける様子をみんなで見学したよ。



間伐材でクラフトを作りました。

コナラの玉切りは、最後まで切るのに疲れたり、薪を割るのに苦労したりとどれも力のいる大変な作業でありましたが、苦労が多い分だけ遣り甲斐もあり「楽しめ

た！」キッズが多かったようです。また燻製は、大人は美味しく感じるけど、キッズにとっては「けむりくさい、中には「タバコくさい」と答えており美味しいスモー

クの味を子供に理解してもらうにはちょっと難しいかな、と感じました。焼き芋は大人も子供もやはり人気で美味しく喜んで食べていたようです。

12月環境研究部会活動報告

「松ヶ原キッズフィールドにて。」

活動日：12月14日(土) 参加者 7名
 22日(日) 参加者 11名

ナラ枯れ伐採の作業を行いました。併せて、チェーンソーのスキルを上げるための実践の場としてこの時を活用、多数の方が参加しました。

22日は、雪がちらつく寒い中、チルホール、ロープを駆使して作業。経験豊かなメンバーの指導を受け、無事思う方向に伐倒することができました。「受け口を作る時、水平に切るのが難しい」との声を聞き、来年2月16日(日)に続きを行います。スキルを磨きたい方、ぜひご参加ください！





一年を振り返りながらの芋煮会

し入れがあり、今年の振り返りと来年の活動について歓談しながら、里山の地域貢献・ナラ枯れ対策・伐倒技術の研修などの里山との接し方など、この一年を振り返りました。▼昼食後、松岡さん・原島さんよりクラフト部会で用意して頂いた来年の干支(巳)の組み立てや、ミニ門松を作り来年の健康と安全に思いを馳せました。小川フィールドの紅葉が終わりコナラ・アベマキなど葉を落とした広葉樹林はすっかりエネルギーを蓄積する冬支度。今年一年の里山に感謝する納会となりました。 **参加者 12名**



ミニ門松担当北田さん



薪用の玉切り中の恵木さん



芋煮調理中の北田正子(左)さんと杉田さん



11月クラフト部会

クラフト部会の山本ベースの参加者はベテランのご逝去により毎回4名～5名で活動してきましたが、5月から青木さん7月から沖野さん、11月から新人の女性 丸吉さんが参加され活気が出て来ました。

12月の活動日は7日と14日に行い14名の参加でした。

7日の作業は、来年の干支の蛇の置物とミニ門松の材料として、ひたすら孟宗竹と真竹の輪切りを研磨していました。一部は里山部会に提供しました。

14日は厳しい寒さの中で山本ベースの大掃除。裏山の草刈り、ベース開設以来蓄積された木絵・箱庭・ロボット・干支の置物など多数ありましたが埃をかぶったりカビ付いたものを選別しました。しかしながら、大掃除はすべて終わることができませんでした。最後に岩田部長より差し入れされたノンアルコールビールで乾杯して終わりました。 **2班：松岡一幸**



おつかれさま～。大掃除のあとは、ノンアルで乾杯！

昨年は、いろいろな事(本廣さん・磯貝さん・竹原さんのご逝去、私の入院)があり、部会長2年目として悩みながら、クラフト参加のメンバーの協力を得て、何とか無事に過ごすことが出来ました。感謝！

参加者も徐々に増え、今年は、2024年内にできなかった湯来町に置いてある製材機の運用や、今迄の定番作品の他に、新たな作品のリスト作り、何でも言える場所作りをして、何より自分が楽しみながら活動できる環境を整えたいと思います。 **クラフト部会長 岩田 幸信**

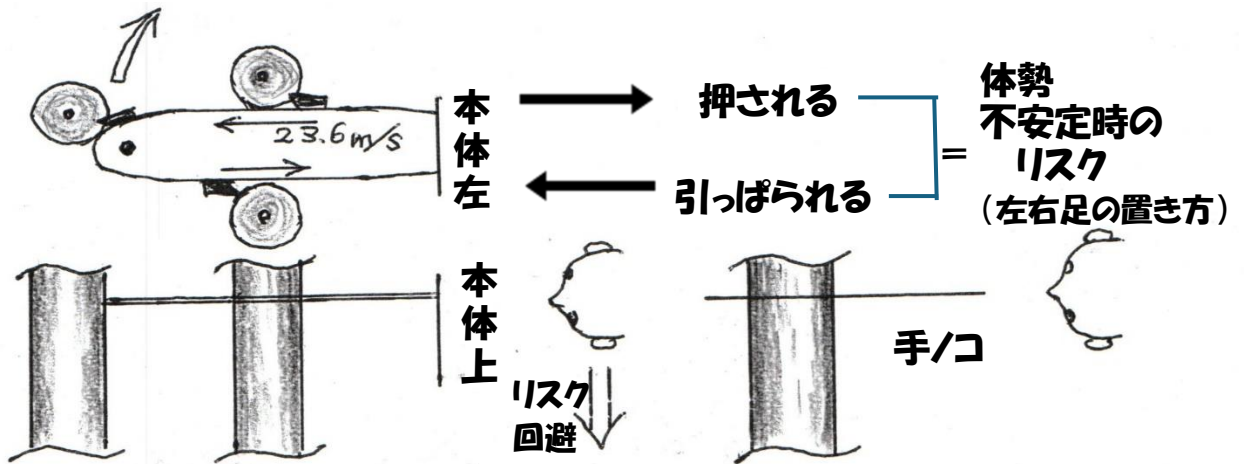
いつも例会で安全を喚起して下さる鎌田さんによって「安心、安全への道」をテーマにしたコラムです。
みんなで楽しく作業し、目標を目指すには、何よりも安全の確保！しっかり学んでいきましょう。

⑤-2 チェーンソーに潜むリスク

～伐り終わり即左手首返してチェンロック～

キックバック (先端部 + 上刃 + 下刃)
全周

行方のリスク



※質問お寄せください⇒info@morimate-ch.com

今月のひと枝

原田 澄



ローズマリー

＜シソ科：マンネンロウ属＞

地中海沿岸原産の常緑小低木。基部からよく枝分かれし高さは約 50～120 ㎝。葉は対生に付き肉厚で 1～3 ㎝の棒状になる。花は開花期が長く、淡紫色、濃紫色、白色など観賞用としても人気があり、11～5 月頃に咲くものが多いとされる。ヨーロッパでは古くから肉の臭みをとる料理には欠かせないハーブとして用いられているが、全草に爽やかな芳香があり、料理の他お茶、薬用、化粧品、香料として幅広く利用されている。まっすぐ伸びる立性と、地面を張って伸びる匍匐性、その中間の半匍匐性の 3 つの種類に分類される。・・・▼寒風にさらされながら、美しい緑を湛えるローズマリー。その甘く爽やかな香りは一年を通して利用され、ヨーロッパでは古くから「若さを取り戻すハーブ」「記憶力を上げるハーブ」として用いられてきた。▼新年がスタート。それぞれの課題をかかえつつも、ゆったりとハーブテイのひと時を持つゆとりは大切にしたい。さて、ローズマリーはいかが？～湯来町 2025・1～



—1月— 活動の予定



倶楽部には多彩な部会もあります。いろいろな活動にチャレンジしてみてください

「自分が作りたいクラフト作品」お手伝いします！

～参加お待ちしております～

- 11日、18日(各土曜)鹿ヶ谷で作業
- 連絡先：岩田 080-5751-3798

クラフト部会

- 日時：1月18日(土) 10:30～12:00
松ヶ原《こぶしの里》にてクラフト指導。『福を重ねる日(干支)を作ろう』と題し、クラフト部会が考案した竹のへびを作ります。

- 連絡先：佐々木 sasaki@morimate-ch.com

環研部会

- 日時：1月12日(日)
- 場所：妙國寺スクスクウの森
フィールド他環境整備・薪割・とんど用竹伐採他
- 持参品：山の道具・水筒・弁当
- 連絡先：佐藤 090-1682-6305
satoken069@yahoo.co.jp *メール希望。

里山部会

あしがるクラブ『とんど』のお知らせ

広島のを守って20周年！
アシ原で学ぼう・遊ぼうin白島
「干潟de とんど」で新年をお祝いしましょう！

白島九軒町には市街地では珍しく、多くの生き物を育む貴重な干潟やアシ原の広がる自然護岸が残っています。刈り取ったアシを使って恒例の「とんど」の櫓と一緒に作り温まりませんか。ぜんざいを作ってお待ちしております。お正月飾りなどお持ちください。(Pあり)

- ★日時：1月18日(土)
- ★9:30～12:00(悪天候時は翌日順延)申し込み不要
- ★会場：白潮公園(白島九軒町神田橋西詰下流)
- ◆問合せ◆中央公民館【電話221-5943】



2月号の会報発送作業は下記の通り、実施します。
どなたでも、都合のつく方はご参加ください。

- 日時：1月29日(水) 18:00
- 場所：袋町市民交流プラザ 3F



会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

会員の種類

- 【正会員】：倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。
- 【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

年会費

- 【個人会費】：3,000円
- 【企業会費】：50,000円

会費・ご寄付の振込先

- 【広島銀行 白島支店】(普) 3283383
- 【ゆうちょ銀行】15170-18029291
- 《口座名》：トクヒ) モリメイトクラブヒロシマ

お申込み方法

- 下記まで電話、又はメールで
- 【電話】090-6419-7531
- 【Email】info@morimate-ch.com